



# 学校だより

11月号

平成28年11月2日  
横浜市立善部小学校  
校長 小澤 紀子

## 思いやり算

学校長 小澤 紀子

つるべ落としの夕日に秋の深まりを感じます。28日(金)に予定されていた全校遠足は、昼前から降り出した冷たい雨のために、延期になりました。その数日前には日に焼けるほどの晴天で、あまりの気温の大きな変化に体調を崩す子も出てきています。しっかり食べてしっかり寝て体調管理にご配慮ください。

さて、10月末に行われました学校公開ではたくさんの方に授業を参観していただき、ありがとうございました。いただきましたアンケートの結果は別紙にてご確認ください。ズーラシアの職員の方の特別授業があったり、旭区音楽会・ケアプラザ訪問演奏のための合唱・リコーダー奏の練習風景があったり、そして普段通りの各教科の授業、と様々な授業を参観していただけたと思います。



24日(月)にはスマイル班会議を行いました。4月からの縦わり班での活動です。その日は、6年生のリーダーを中心に全校遠足のしおりや班の旗を作成していました。そして、木曜日にはスマイル班遊びをそれぞれの場所で行っていました。スマイル班活動は、本校の教育活動の柱の一つです。人とのかかわりの中で、豊かな体験を積んでいくことをねらいとしています。異学年との交流は子どもたちにとって、たくさんの方を教えてくれる場のようなのです。

人とのかかわりで大切な気持ちや行動を、算数の計算になぞらえた「思いやり算」というものを、私は栃木県の小学3年生の子に教えてもらいました。算数と同じ4つの計算。「たし算・ひき算・かけ算・わり算」です。

たし算は、助け合う。ひき算は、引き受ける。かけ算は、声をかける。わり算は、いたわる。

「なるほど、そういうことか。」と感心して子どもたちに昨年の朝会で話をしました。「人を思いやる」というのはどういうことなのか。具体的な気持ちや行動として示してくれています。助け合ったり、仕事を分担して引き受けてたり、自分から声をかけたり、そしてやさしく接していたわったりすることが「人を思いやる」ということだと教えてくれています。昨年の私の話をちゃんと覚えてくれていた子もいて、とてもうれしくなりました。きっと、毎日実践してくれていることなのでしょう。



スマイル班活動には、この「思いやり算」が重要です。

上級生は小さい子に声をかけ、いたわり、仕事を引き受け、みんなで助け合っています。最初はぎこちないグループも、次第にまとまっていく様子が伝わってきます。そして、小さい頃に手をひいてもらい、荷物をもってもらい、背中にそっと手をそえてもらった子たちは、やがて上級生になると、自分たちがしてもらったように、下級生に思いやりをもって接することができるようになっていきます。手をつなぎ、心をつないでいきます。

延期になってしまった全校遠足。「学年こえて ふれあおう 善部スマイル 123Z！」

「思いやり算」いっぱい、にこにこ楽しいスマイル班活動になることを願っています。